

2026年2月27日  
株式会社三菱UFJ銀行

## 平和不動産株式会社と「サステナビリティ・リンク・ローン」「グリーンローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「弊行」）は、平和不動産株式会社（代表執行役社長 つちもと きよゆき 土本 清幸、以下「平和不動産」）との間で、「サステナビリティ・リンク・ローン」（以下「SLL」）及び自然災害対策費用を資金使途とした「グリーンローン」によるタームローン契約（以下「本ローン」）を締結いたしました。

SLLは、借り手のサステナビリティ目標と連動したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」）を設定し、金利等の貸付条件をSPTに対する借り手のパフォーマンスと連動させることで、SPT達成に向けた動機付けを行い、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長の促進・支援を目的とするものです。

本ローンは、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）よりサステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠について第三者意見書を取得した「平和不動産サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」に基づき実行されます。

KPI：CDP 気候変動スコア

SPT：達成判定までの期間にわたり CDP 気候変動スコア A-以上を維持

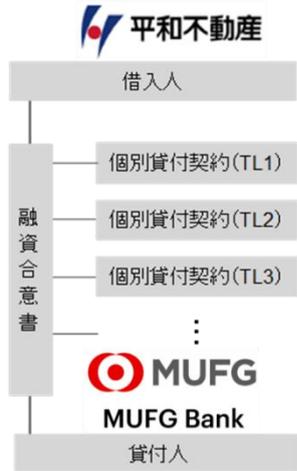
グリーンローンは、本ローンにおける資金使途について十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトであることを確認します。なお、本ローンでは、新たに「平和不動産サステナビリティ・ファイナンスフレームワーク」を策定し、JCRよりグリーンローン原則への準拠について第三者意見書を取得しております。また、弊行はサステナビリティ・コーディネーターとしてフレームワーク策定を支援しました。

グリーンローン原則上の分類	適格プロジェクト
気候変動適応	自然災害対策費用／浸水対策費用等

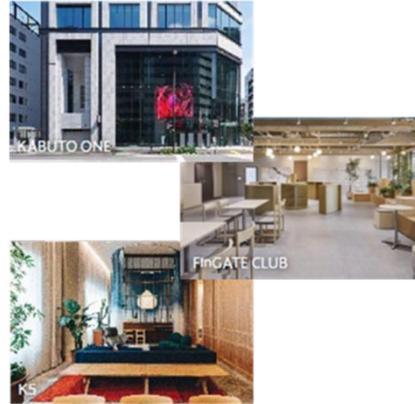
### 【本ローンの概要】

契約締結日	2026年2月27日
貸付人	株式会社 三菱UFJ銀行
資金使途	日本橋兜町・茅場町エリアの街づくりに資するための事業資金

なお、弊行は、平和不動産との間で、日本橋兜町・茅場町エリアにおける街づくり事業を対象とした融資基本合意を締結いたしました。今後は、本合意に基づき、都度個別貸付契約を締結のうえ融資支援を展開してまいります。



## 日本橋兜町・茅場町の街づくり



平和不動産は、1947年に日本証券取引所（全国11カ所の株式取引所を統合して1943年に設立された半官半民の営団組織の取引所）が解散されるにあたり、同所が東京、大阪、名古屋その他に所有する証券取引所等の施設を賃貸することを目的として設立された不動産会社です。

平和不動産は、マテリアリティの一つとして「気候変動への対策」を掲げており、気候変動を重要な課題として認識しています。同社は、気候変動の緩和への貢献を目指すため、2021年10月に中長期目標として「グループ全体のGHG排出量を2018年度比で2030年度までに50%削減を目指す」を策定しました。同目標については、SBTiよりSBT認定（1.5°C水準）を取得しています。その後、さらに脱炭素の取り組みを推進すべく、スコープ1+2で2025年度までに2018年度比80%の削減（2018年度比／総量ベース）、2050年度までにネットゼロ達成を目指す新目標を設定しました。

## 投資を、そして感性を一步先へ。 この街から、新しい風を。

澁沢栄一らが生み出した株式マーケットの街は、  
日本経済の中心で歴史を紡いできた。  
この街がまとう「コトはじめ」の文化を未来につないでいくために、  
これからの日本橋兜町・茅場町は、投資と成長をライフスタイルに変えていく。  
金融をアップデートし、国内随一のインベストメント・シティへ。  
そして、さらにひろがりのある街へ。  
もっと投資をカジュアルに、もっと街をカラフルに。  
多彩な個性が行き交い、クリエイティビティが高まる。  
化学反応が起こり、大小さまざまなイノベーションが生まれる。  
ビジネスだって、遊びだって楽しめる場を、みんなで作ろう。  
人々の感性を刺激する、世界のどこにもない場づくりを、この街から。



株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。